

赤羽大江戸舞祭開催趣旨

■ ■ ■ 始めに ■ ■ ■

大江戸舞祭とは、毎年9月に都民広場（東京都都庁）で開催される、小中学生が主役の踊りの祭りです。都内の学校や地域で連（踊りのチーム）を組んで参加するもので、その中で踊られる踊りが『大江戸ダンス』です。

大江戸ダンスは、昭和の名曲『東京ラブソディ』を“東京の子どもたちのダンスために”編曲した曲で踊るダンスで、子どもたちの踊るアップテンポのピップホップ調のダンスは、見る人を感嘆させます。そしてそのダンスをマスターするために、子どもたちは懸命に練習するのです。それは、大江戸ダンスに子どもたちを魅了する力があるからに他なりません。

打ち込めるものを見つけた子どもたちのエネルギーは、計り知れません。その姿を目の当たりにしたおとなたちをも巻き込む強さを持っています。このエネルギーを、是非、広く北区の子どもたちに伝えたいと願っております。そして、子どもたちにとってだけでなく、この地で開催することにより、様々な層に、様々なつながりが広がることを期待しております。

開 催 趣 旨

『「踊り」を通じてふれあい、連帯し、楽しく心豊かな交流が出来る共創の場を実現すること』を目的とした大江戸舞祭の趣旨を尊重し広めるとともに、「赤羽大江戸舞祭」を通して、「わがまち」に新たなつながりを生み育てるきっかけづくりにしたいと考えました。

主役は子どもたち。子どもたちが思いきり「自分」を出せると共に、「互い」に同じ大江戸ダンスを踊る者同士として「認め合う」場づくり— また、大人たちがこの祭りの開催を機に「知り合い」、共に祭りを支えることを通して「つながり」、地域の仲間として「あらたな関係を築く」場づくり— これから始まる「赤羽大江戸舞祭」の中でそのような場づくりを大切にしたいと思えます。

そして、それら北区内に新たに築かれてゆくつながりが、まちを豊かにする力を秘めていることにも期待して止みません。「赤羽大江戸舞祭」からはじまるもの—それは単に年に一度のイベントではなく、ここをきっかけにつながり、ここを核として広がる「人」「思い」「力」が『わがまち 赤羽—北区』をより住み続けたいまちにしてゆく原動力になることを願っております。

より多くの方がこの趣旨に賛同し、それぞれのできることでつながって頂けることを心よりお願い申し上げます。

平成19年12月

赤羽大江戸舞祭実行委員会